

小沼自治会

地域の話題

自治会紹介シリーズ

『小沼自治会』

小沼自治会は、若松2丁目にあり校区は若松小学校、世帯数170（自治会加入率100%）で、のどかな住宅街です。

11月末の少しひんやりする午前、中込なかごみ宏文会長にお話を伺いました。

地名のとおり、小さな沼だったこの地域は、昭和44年頃に宅地分譲され、それに伴い自治会が発足したそうです。

現在自治会館はなく、会合は老人福祉センター若竹園を利用しているそうので、お勤めの方を考慮し夜の会合が多いとのこと。

「当初は小沼東公園に古い小田急バスを譲り受け、そのバスを会館として使用していました。」との話にはちょっと驚かされました。

行事として以前行っていた盆踊り大会はなくなり、子供会もなくなったそうので、会員の結束が大切と考え、3〜4年前に「自治会標語」を作り、会員の融和に取り組んでいるそうです。

「標語は『向こう3軒両隣、挨拶明るく、笑顔のこぬま』です」と、にこやかに答えてくれました。

盆踊り大会の代わりとして、9月に会員相互の親睦を兼ねて「ふれあいまつ

り」を小沼東公園で開催しているそうですが、会員の中に三味線の先生がいるので、演奏をお願いして踊ったり、焼きそば、ミニゲームなども楽しんでいるそうです。



▲三味線バンドで大盛り上がり



▲お腹グーグーです

また広報活動として、月1回、「会報（ぬま）」を発行し、回覧形式で会員へ連絡事項などの周知徹底を図っているそうです。最後に、今後の課題をお聞きしました。「班体制の見直しです。現在役員任期は会長も含めて1年で、9班に分かれています。班長は半年任期で人選していますが、最近班の人数構成の変動による不公平感が出てきています。」とのお話で、班体制の見直しは喫緊（きっきん）の課題だそうです。

自治会運営の難しさはあるものの、改めて会員の結束の大切さをお聞きして心温まる取材となりました。

次回は「若沼自治会」の予定です。